

2024年度事業報告書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

特定非営利活動法人 りあん

I 全体の概要

障害のある人々が地域であたりまえに生活していきける社会の実現を図るため、障害のある人の自立・生活支援や、誰もが暮らしやすい街づくりに関する提言などを行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とし活動した。

運営委員会・総会などの開催状況

日程	種別	開催場所	検討内容など
5/11(土) 14:00～	運営委員会議	こて	総会にむけ、議案書資料の作成
5/25(土) 18:00～	定期総会	こて	事業報告、決算および会計報告、役員の変更、事業計画、予算
6/1(水) 13:30～	運営委員会議	こて web併用	運営委員長の互選
7/20(土) 13:00～	運営委員会議	こて	近況の共有、403活用状況、ボラセンや龍谷大学との関係について、マスクについて、他
10/10(木) 19:00～	運営委員会議	こて	利用の減少と対策について(賞与の減額、処遇改善の見直し)、残業状況について、他
12/5(木) 19:00～	運営委員会議	こて web併用	重訪研修修了、見学等の報告、廃車処理カーシェアリング協会活用の提案、ぼるて利用の報告、実地指導の報告、年末賞与の確認
1/23(木) 19:00～	運営委員会議	こて	収支見込みの確認、処遇改善と給与の見直し検討
2/6(木) 19:00～	運営委員会議	こて web併用	収支見込みの確認、処遇改善と給与の見直し検討
3/17(月) :1900～	運営委員会議	事務所	収支見込みの確認、処遇改善と給与の見直し検討

年度途中より利用の減少によって収支バランスが悪化した。その対策を検討するため、年度後半は、例年より頻回な会議開催となった。

II 事業の記録ならびに成果

1. 居宅支援事業

事業内容 指定障害福祉サービス事業所、および指定共生型訪問介護事業所の運営
対象者 介護給付の支給決定を受けている人、および障害福祉サービスから移行して要介護認定を受けている人
実施場所 対象となる障害のある人宅又は外出先など
実施日時 通年

2. 外出支援事業

事業内容 各自治体委託 移動支援事業の実施
対象者 大津市・草津市・栗東市・野洲市より、利用決定を受けている人
実施場所 対象となる障害のある人宅を拠点として外出先など
実施日時 通年

障害者総合支援法における障害福祉サービス事業所として、居宅介護(身体介護・家事援助・通院介助など)、重度訪問介護、行動援護、同行援護を実施した。また同法の地域生活支援事業である移動支援事業を、各市と委託契約を結び実施した。さらに障害福祉サービスを利用していた後に介護保険に移行した人が、大きな変化無く利用を継続出来るよう、介護保険法における共生型訪問介護事業所としても支援を実施した。

主な成果や状況は以下である

- ・24時間365日の支援の継続
- ・余暇活動グループ「よかとも」からのヘルパー派遣依頼について、これまではグループ支援で対応してきたが、学生などの新たな支援者の関わりを期待し、常勤スタッフ以外の支援はボランティアとして募集するよう変更したところ、広く活動を知ってもらう効果があった。

※以下の4表は、障害福祉サービスおよび介護保険のサービスを含む。

利用者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大津市	58	63	61	59	59	52	57	57	59	59	58	62
草津市	14	15	15	13	14	15	15	15	15	15	14	14
守山市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0
野洲市	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
栗東	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
竜王町	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1
京都	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	79	85	83	79	79	72	78	78	80	79	77	81

- ・グループ支援のみの利用は、(参考:2023年度 月当たり合計利用者数 79名~90名)
人数にカウントしていない。(参考:2022年度 月当たり合計利用者数 84名~92名)

利用者数は減少傾向にある。入院、死亡、転居などによるものである。

介護種別利用時間数(時間)

(参考)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2023年度計
身体介護	55.5	51.5	51.5	48.5	50.5	43.5	60	42	62.5	53.5	64	67	650	743
家事援助	23	26.5	18.25	25	22.5	27.25	22	23.75	26.75	21.25	9	12.5	257.75	322.5
通院介護	20.5	30.5	22.5	24.5	21.5	21	26.5	26.5	28.5	28.5	27.5	27.5	305.5	292
行動援護	33.5	38.5	35.5	29	48	45.5	57.5	51.5	52.5	49	78.5	86.5	605.5	385
同行援護	29	30.5	22	21.5	23	9	0	7.5	17	9	4	23	195.5	187.5
重度訪問介護	1552	1482	1106	1505	1232	1291	1381	1427	1421	1454	1312	1553	16713	19810
移動支援	316.5	341.5	361.5	340	309.5	328.5	301	290	333.5	333.5	305.5	303.5	3864.5	4094
グループ支援	34	54.5	29.5	33	16	152	98	1.5	12	35.5	44.5	50.5	561	711.8
介護保険	16.5	18.5	12	17.5	16.5	11.5	12	11	16	14.5	16.5	14.5	177	188.2
合計	2080	2074	1658.75	2044	1739	1929.25	1957.5	1880.25	1969.75	1998.25	1861	2137.5	23329.25	26734

通院介助や行動援護は増加しているが、他は減少している。

時間帯別利用回数(回)

(参考)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2023年度計
日中	302	289	280	277	270	250	258	271	273	269	249	279	3,267	3,942
介保日中	15	19	14	17	16	15	12	11	17	15	19	13	183	182
早朝/夜間	270	259	267	257	214	230	241	237	237	252	231	257	2,952	3,537
深夜	86	74	91	84	61	74	79	79	76	79	74	82	939	1,076
回数	673	641	652	635	561	569	590	598	603	615	573	631	7,341	8,737

- ・日中 8:00-18:00
- ・早朝/夜間 6:00-8:00/18:00-22:00
- ・深夜 22:00-6:00

全ての時間帯で利用は減少している。

・従業員に子が生まれた際や家族の看護介護が必要な場合は、勤務時間等の配慮が必要なことが多くある。また、従業員の子が、放課後等デイサービスを利用している場合に、他の従業員が

代わりに引き受けるような協力も含め、働きやすい労働環境であるように、互いに努め合っている。

従業員数(実働)(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
パート(ヘルパー)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
パート(主に事務)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
登録ヘルパー	44	46	52	52	48	49	50	45	50	51	51	48
庶務アルバイト	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1

(参考:2022年度 登録ヘルパー 46～53名)
(参考:2023年度 登録ヘルパー 41～52名)

3. 相談支援事業

事業内容 大津市委託 相談支援事業、機能強化事業、ならびに障害支援区分認定調査および、指定 計画相談支援事業の実施
対象者 主に、大津市内の障害がある人やその関係者など
実施場所 事務所及びサービス対象となる障害のある人宅など
実施日時 通年

以下4つの事業を実施している。当事業所の特徴として、事業所内に障害当事者が勤務していることで、担当相談員だけでは分からない情報を得ることが出来、助かることも多い。

委託相談支援事業	市内14事業所(委託)	福祉サービスの情報提供／社会資源活用の支援／生活力を高める支援／権利擁護のために必要な援助／専門機関の紹介など相談全般を担う。付随して障害支援区分認定調査も実施。
機能強化事業	市内4事業所(委託)	専門的な相談支援を要する困難ケースへの対応、自立支援協議会の運営、他の指定相談支援事業者への専門的支援等を実施。
拠点コーディネーター	市内4事業所(委託)	ほっとネット事業(大津市地域生活支援拠点事業)の「お助け事業」「お泊まり事業」を通じて緊急対応事例の把握・分析等
計画相談	市内19事業所(指定)	利用契約を結んだ障害児者との間で、状況把握／情報提供／計画作成／関係者との調整、会議／モニタリング等を実施。

■委託相談支援事業

○印象的な出来事

・金銭がなくなったという事例が頻発《肢体不自由・施設入所／肢体不自由・母と2人暮らし／肢体不自由・母と2人暮らし》
・主に小学校低学年の家族向け、情報交換会を開催。福祉サービスの情報だけでなく、オムツの情報や地域のお店の情報など盛り上がったよう。

○地域課題として行政や自立支援協議会に提言したこと

・身体介護での入浴が週3回までしか認められない基準について撤廃を提言。(継続)
・エアマットの購入補助が現実に見合わない低額なことについて京都市を例に挙げ特殊マットとは別項目での金額設定を提案。
・人工呼吸器使用者などへのポータブル電源の補助を提言、2025年度に実現の見込み。
※前年度に提言した訪問入浴時の清拭対応の算定についても、2025年度に実現の見込み。

○未解決な課題

・重心医ケア児者の支援、放デイや生活介護の選択肢は随分と増えたが、短期入所の不足は、より深刻化している。

・行動障害を呈する状態となっている方の通所先、利用出来る事業所の選択肢が限られており、そこで上手く行かなければ、他の選択肢を示せない状況。

主な障害の種別

	知的障害	身体障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	重症心身障害	合計
成人	27	37	9	3	2	14	2	94
児童	6	1	0	2	0	0	4	13
計	33	38	9	5	2	14	6	107

相談内容別件数(件)

種別	件数	主な内容
福祉サービス利用等	967	福祉サービスの制度説明・申請補助／事業所探し・紹介・見学・同行／日々のサービス調整・予定表作成／介護保険移行
障害や病状の理解	89	家族や関係者へ障害特性の説明や共有／介助方法のアドバイス
健康医療	183	医療機関との連携や受診付添／訪問看護等の手配や連携
不安の解消・情緒安定	23	日々の話を聴く(電話・メール等)
保育・教育	13	進路の相談など
家族関係・人間関係	75	支援者との関係性の課題／家族の病気や怪我／家族の困りごと対応
家計・経済	27	手当等の情報提供や申請補助／生活保護の相談／支払いの課題への対応
生活技術	127	補装具・用具・ICT機器等の情報提供や申請補助／住環境アドバイス
就労	17	就労希望や職場との課題等への対応
社会参加・余暇活動	54	スポーツや文化的な活動グループ等の情報提供や紹介／畑で作業
権利擁護	5	成年後見制度の情報提供・申請補助／虐待関連

健康・医療および家族関係・人間関係の相談が増加している。

■機能強化事業

他の相談支援事業所への支援として、自立支援協議会や各団体での研修時の講師やファシリテーターとしての協力、初任者研修を受講される際のフォロー、電話などで日常的に相談対応などを実施。また、高齢PJ、高次脳機能障害連携会議などを担当し、各会議や研修会の企画や当日の進行などを実施。

■拠点コーディネーター事業

「おおつほっとネット」事業の中で、緊急対応や地域移行についての課題分析や地域全体での体制整備を考える役割であり、市内4ヶ所の機能強化事業所に併設された。当事業所では、常勤スタッフ1名(他業務と兼任で4分の1)を配置した。

また当法人で賃借しているワンルームマンションを「ぼるて」として、ひとり暮らしの体験や緊急対応に使えるよう管理している。市の「お泊まり」事業の補助を受ければ水光熱費のみで利用出来るが、そうでなくても日割り計算で利用出来る。今年度、他の相談支援事業所経由で緊急対応としての活用が1件あった。ほか数件、問い合わせや相談はあったが利用には至っていない。

■計画相談

計画相談件数(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	計画作成	5	3	2	3	3	5	1	1	3	1	2	5	34
	モニタリング	7	3	4	4	4	3	5	3	1	4	3	2	43
障害児	計画作成	3	0	0	2	2	0	0	1	2	0	1	3	14
	モニタリング	0	2	0	1	1	2	0	0	1	0	0	1	8
合計		15	8	6	10	10	10	6	5	7	5	6	11	77

4. 福祉輸送事業

事業内容 特定旅客自動車運送事業の実施
および大津市医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業の実施
対象者 自立支援給付の受給や移動支援の決定を受けている人
および大津市医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業の利用者
実施場所 滋賀県内を起点とする
実施日時 通年

移動支援、居宅介護(通院介助・身体介護など)、重度訪問介護などの利用時に、乗車中は介護給付の時間とせず、福祉輸送料金を徴収している。大津市においては、車両移送支援により、月5時間までの乗車については1割負担(例:1時間70~100円程度)で利用出来る。

福祉輸送利用状況

(参考)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2023年度計
利用者数(人)	65	63	65	70	65	61	62	67	68	64	64	66		
利用件数(件)	280	277	266	292	273	244	270	262	255	264	244	250	3,177	3,355
走行距離数(km)	3,670	4,139	3,438	3,798	3,490	3,135	3,576	3,440	3,460	3,682	3,878	3,721	43,427	44,420

※2021年7月以降、大津市移動支援事業車両移送型の利用を含む。

2020年度より受託の「大津市医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業」を継続して実施している。医療ケアがあり、特別支援学校の送迎バスに乗れず、日頃は家族が送迎している方が対象となる。当方は車両と運転手を派遣し、訪問看護師が同乗され、通学の支援を実施。

利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3	5	2	2	0	2	3	10	3	3	7	7	47

(参考:2022年度実績 28回)

(参考:2023年度実績 59回)

2024年11月、公益財団法人 河本文教福祉振興会様より、車両の寄贈を受けることが出来たため、普通車一台を入れ替えている。旧車両については、日本カーシェアリング協会に廃車寄付しており、被災地の支援に役立ったとのこと。

2025年3月末現在の車両数、運転者数は以下の通り。

- ・事業所保有車両…8台
- ・運転者…18人 (常勤 11人/登録ヘルパー 7人)

5. 私的居宅支援事業(ちゅぷ)

事業内容 私的居宅支援事業「ちゅぷ」の実施
対象者 支援が必要な状況と当法人が認めた人
実施場所 対象となる障害のある人宅又は外出先など
実施日時 通年

当事業は、支援が必要な状況でありながら、制度の狭間などにあり、公的な支援が得られない場合に、有料であるが支援者を派遣するものである。利用料金は事業所で独自に設定し、最初の1時間までを1,000円、以降30分毎に350円としている。以下の3点を主な目的としている。

- ①制度の狭間などにあり居宅介護などを利用できない人のニーズに応えること
- ②資格を持たない人も関わることができること
- ③成果を上げることでその必要性を行政に訴える材料とできること

今年度の利用は無かった。過去の利用は、入院に関連するものが主である。

(参考:2021年度…2件/2022年度…0件/2023年度…0件)

6. 研修開催事業

事業内容 指定 居宅介護従業者養成研修事業の実施
対象者 障害のある人の支援に関わる人および関わろうとする人
実施場所 瀬田商工会館および周辺の地域
実施日時 年1回(別記)

今年度も、より多くのヘルパーを確保するため、ヘルパー研修を開催した。草津市に所在するNPO法人ディフェンスとは、研修開催の時期をずらすことで、共に協力体制を取っている。

従前より、講師・講師補助として障害当事者の協力を得ており、講義、実習共に、より実践的な内容になるよう検討を重ねつつ、幅広い障害当事者の協力を得ながら実施している。

実施研修内容	実施期間	会場	定員	応募	受講	修了
重度訪問介護従業者養成研修	11/16, 23, 24 (3日間)	瀬田商工会館	30人	11人	9人	8人

7. 広報・啓発事業

事業内容 通信やSNS、研修やイベントへの協力を通じて広報・啓発活動
対象者 不特定
実施場所 各開催地など
実施日時 随時(別記)

・外部研修講師など

実施内容	担当	実施機関	実施日
大学授業内での宣伝や講義のサポート	染井	龍谷大学	4/24、4/25
重度訪問介護従業者養成研修(うち2h)	阿部	NPO法人ディフェンス	6/16
出張ボラセンin龍大	染井、前川	龍谷大学	7/10
相談支援専門員 現任者研修(部分) ファシリテーター	染井	県自立支援協議会	10/18,11/22, 12/26

・これまで発行の通信「ぬぷぼん」については手間や経費を考慮して休刊している。替わって、SNS(FacebookやInstagram)を活用した広報に努めている。

8. 各種研修への参加・実施

事業内容 従業員の資質向上のため各種研修へ参加、又は実施する。
対象者 従業員
実施場所 各開催地など
実施日時 随時

登録ヘルパーも含め全てのヘルパーが、年間通して1回以上の研修に参加している。より多くの従業員が受講出来るよう、動画配信などを活用している。

9. 交流事業の開催

事業内容 フリースペースこてを活用した交流事業の開催
対象者 当法人の各事業の利用者、関係者、および地域住民など
実施場所 大津市一里山の賃貸物件
実施日時 随時(別記)

事務所の隣のテナントを「フリースペースこて」として、以下のように活用することで、地域の方との交流の場とした。

前年度、こての活用を考えるワークショップ開催時のアイデアを参考にし、年度当初に、学生ボランティアと共にこての看板作成に取り組んだ。実際に掲示し活用している。

1. 「つどい処ばばるで」の開催

実施日時	毎月 第4土曜日 10:00～15:00(昼食提供)
年数回	金曜日 16:00～21:00(夕食提供)

運営委員やボランティアの協力により、土曜日は毎月開催できたが、金曜日は実施出来る者が少なく、数回の開催に留まっている。

2. レンタルスペース

利用件数…53件 (参考:2023年度 48件)

地域の個人や団体の活動、大学ゼミの集まり、関係機関の会議や面談などに活用されている。

3. フリースペース

その他、以下、交流会等で活用している。

- ・1時間までの利用はフリーとしており、食事や休憩の場として
- ・ヘルパーとの外出時に、食事場所として立ち寄るなど
- ・6月と9月 龍谷大学ボランティア・NPO活動センターとの協同企画「防災食たべておはなし会」
- ・7月 龍谷大学ボランティア・NPO活動センターの展示「福島と宮城を訪れて」

4. 避難所としての備え

災害時には、福祉的な避難所として活用される可能性があることや、業務中の災害時には利用者や従業員に限らず地域の方の役に立てるようにと考え、発電機や長期保存食、簡易トイレなど備蓄している。

10. シェアハウス運営事業

事業内容 シェアハウス「ポッシュ」の運営、生活体験室の運営、および交流事業の実施

対象者 居住者および近隣住民

実施場所 大津市大萱の賃貸物件

実施日時 通年

年度途中、入居が有り満室である。入居者からの要望に応えwi-fiを導入した。

11. 日中一時支援事業

事業内容 日中一時支援事業の実施

対象者 大津市・草津市・栗東市より利用決定を受けている人

実施場所 大津市一里山の賃貸物件

実施日時 通年 週2回

(火)(日)10:00～15:00開催。基本8名までの利用定員としており、日曜日は希望者が多いため調整し利用してもらっている。日曜日や祝日も開催していることは地域の社会福祉資源の中では稀であり喜ばれている。また利用者の費用負担を抑えるため、1人200円の食材費で工夫して調理し食事提供した。

季節ごとに、畑作業、味噌造りなどイベントを企画することもあるが、基本的に過ごし方は自由と

している。休日をゆったりと過ごしたい方、菓子作りなど目的のある方、交流を期待する方など様々である。また、希望に沿い、買い物等の外出を、毎月1回、定期的に実施している。

らて利用状況

参考

利用状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2023年度
開所日 (日)	9	8	9	9	8	9	9	8	8	8	8	9	102	104
延人数 (人)	58	44	46	46	46	57	51	47	49	52	46	49	591	615
平均人数 (人)	6.44	5.50	5.11	5.11	5.75	6.33	5.67	5.88	6.13	6.50	5.75	5.44	5.79	5.91

開所状況は変わらないが、利用人数は若干の減少傾向である。利用予定であっても、当日のキャンセルも多い。

12. その他

・12月より地域のゴミ当番を担当している(4月毎に1ヶ月間)

事業支出額(全事業計) 115,022,037円